

## 子育てコラム51 parenting column

子育ては楽しいこともあるけど悩みもたくさん。  
そんなママのための役に立つアドバイス。

# 性教育(命の教育)その15 「絵本紹介 I」

性教育の最後に、参考にさせていただきたい「性(命)」に関する絵本で、ご紹介済み以外の絵本を2回に分けてお伝えします。性教育は生まれた時から始まっています。基本的な生活習慣も生まれた時から始まっていて、これらは健康を培い命を守ることに繋がります。自他の心と体を大切にすることが描かれている絵本は全て性(命)教育絵本といえます。その中で、男女の体・受精・妊娠・出産・命のつながり・色々な家族・性犯罪について書かれている絵本を紹介します。

おちんちんのえほん—「きみはおとこのかな、おんなのかな。おとこのなら、なんでわかるの。おんなのことはどこがちがうの」で始まり、プライベートゾーンや受精、妊娠、出産、性犯罪について描かれています。まわりから愛されている思いにひたれるような絵本です。男女問わず3歳頃からご一緒に。

いのちのまつりヌチヌグスージ—「ぼうやにいのちをくれた人は誰ね〜?」「それは…お父さんとお母さん?」「そうだねえ。いのちをくれた人をご先祖さまと言うんだよ」「ご先祖さまって何人いるの?」。見開きいっぱいに描かれたご先祖さま。いのちをつないでくれた沢山のご先祖さまがいるからこそ、今輝いているわたしの命があるのです。

せっくすのえほん—「わたしはどこからうまれてきたの?」「川で拾った?」「ゴミ箱に落ちてた?」「お花から生まれた?」「卵から?」「おもちゃ屋さんで買った?」「畑でとれた?」「そんなばかな。お母さんのお腹から生まれたんだよ。子どもたちが知りたい受精・妊娠・出産を、やさしくやわらかく、でもしっかり科学的に伝えています。

おへそのあな—子どもたちが気になるお腹の中での赤ちゃんの生活。赤ちゃんは子宮の中から家族の会話を聞いているんだよ、見ているんだよ。生まれてくる赤ちゃんを心待ちにしている家族の様子や、赤ちゃんも家族の声を聞きながら安心して過ごしている様子が伝わってきます。

ぼくのいもうとがうまれた—35年前の写真絵本。妊娠線の入った大きなお腹、そして出産の場面、胎脂や臍帯が付いた生まれたばかりの赤ちゃんの様子が分かります。何よりも皆の表情が素敵です。

### 今回紹介した絵本

「おちんちんのえほん」  
やまもと なおひで 作、さとう まきこ 絵/ポプラ社

「いのちのまつりヌチヌグスージ」  
草場 一壽 作、平安座 資尚 絵/サンマーク出版

「せっくすのえほん」  
みずの つきこ 作、やまもと なおひで 監修/子どもの未来社

「おへそのあな」  
長谷川 義史 作/BL出版

「ぼくのいもうとがうまれた」  
北沢 杏子 作/アーニ出版



子育てひろっぱ「めぐみ」代表  
弘田 恵子

大阪府立母子保健総合医療センターNICUや母乳育児相談室で勤務。その後20年間高知市内のめぐみ保育園で園長を務め、平成30年4月から子育てひろっぱで、妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)、絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。